組合員数105,195人
支部数　945
読者数　65,580人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第399号　2023年3月15日（水）
（通巻第598号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　杉澤　隆宣　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

「一緒に頑張りたい」

物価高に見合う年金引上げを

加入や激励各地で

年金者組合の宣伝行動に反響

「年金だけでは暮らせない。働けなくなったらと思うと不安でいっぱいです」―こうした切実な声に背を向けて、大軍拡・大増税・社会保障切り捨てを強行し続ける岸田政権。全国各地の年金者組合は「物価上昇に見合った年金引き上げを」と寒さきびしい中で宣伝活動に取り組んでいます。

年金上げての願いをこめて署名（大塚）

◇　◇

年金者組合の「年金裁判公正判決最高裁要請」宣伝と、「物価高に見合う年金引き上げ」を求めての2月の支給日宣伝行動は、駅頭宣伝、金融機関前、ショッピングモール前、スタンディング、ポスト入れなど工夫をこらしたものでした。（3面に詳報）

物価高に苦しむ国民の暮らしには手を打たず、アメリカのための「大軍拡」に血税を注ぎ込み、マクロ経済スライドを発動して年金を実質引き下げる岸田政権への怒りは高まっており、「年金者組合に加入して一緒に頑張りたい」と一家4人そろっての加入（東京・練馬区）はじめ東京や千葉・兵庫などで新加入がありました。

また、「73歳になるが、年金だけでは暮らしていけないので始発電車に乗って調理の仕事をしている」（東京・北区女性）、「電気代が高くなっているのでエアコンは使わずこたつだけで過ごしている」（東京・豊島区女性）など切実な暮らしを語り、「頑張ってください」の激励が数多くありました。

特別宣伝号

4月号はオールカラー

未加入者に渡して下さい

仲間づくり月間で活用しよう

「年金者しんぶん」4月号は「春の仲間づくり月間」に向けたオールカラー4ページの特別宣伝号です。購読者だけでなく、全ての組合員と宣伝用を配布します。

「仲間づくり月間」は4月を準備・助走期間とし、5月、6月に取り組みます。一人でも多くの人が組合に加入するよう未加入者に「一緒に第二の青春を」と声をかけて手渡してください。また、「年金者しんぶん」未購読の組合仲間には購読を勧めてください。

国会議員に要請行動

2月24日、年金者組合は全労連と共催で衆議院第一議員会館で集会を開き＝写真、「若者も高齢者も安心できる年金と雇用を」国会請願署名の紹介議員の要請行動を行いました。

最高裁は憲法判断を

年金裁判　大法廷求め攻勢

「不当・不法な年金引き下げの取り消し」を求める年金裁判は23都府県原告団（原告870人）が最高裁、15道県原告団が高裁でたたかっています。

2月3日正午から、第二次最高裁要請行動を、中央本部、岩手、宮城・秋田、栃木、長野、岐阜、兵庫、東京、埼玉、神奈川、千葉の原告と弁護団で行いました。最高裁前で訴えた後、2班各10人の要請団を送り、書記官にも要請しました。

衆議院第二議員会館での報告集会には会場いっぱいの90人が参加し、大法廷での憲法判断を求め、4月、5月の最高裁要請行動と人間の鎖、女性による要請行動など取り組みをさらに強める決意を固めあいました。

機関紙コンクール

第34回　開催について

2023年第34回「年金者しんぶん」機関紙コンクールをつぎの要項により行います。全都道府県本部および支部からの積極的な応募をお願いします。

◇**対象紙**＝年間を通じて定期発行している都道府県本部および支部と各女性部の機関紙誌で3月と4月に発行したもの。

◇**締め切り**＝4月28日（金）中央本部必着。

◇**応募方法**＝各号とも10部、封書の表に「機関紙コンクール参加」と朱書きを。

◇**選考基準**＝中央本部の機関紙コンクール「審査基準」により、最優秀賞、優秀賞、入賞、努力賞を選出する。

◇**選考委員会**＝中央本部役員、編集委員から10人程度と日本機関紙協会の代表で構成。

◇**発表・表彰**＝6月20、21日開催の第26回大会で発表・表彰。

風雪

▽球春を迎えた。18日から甲子園で選抜高校野球大会が始まる。毎年恒例と思いがちだが、1941（昭和16）年の夏の大会から46年までは開催できなかった。そう、戦争のためである。

▼戦争はプレーする場だけでなく、昭和7年春優勝、夏は準優勝した松山商業の景浦将三塁手や、昭和14年夏、準決勝、決勝と2試合連続ノーヒットノーランの海草中学（現和歌山向陽高校）の嶋清一投手など球児たちの命も次々と奪った。

▽ウクライナへの侵略戦争が始まって1年。マスコミでは、将棋か囲碁の対局でもあるかのように「軍事専門家」がウクライナの戦況を解説、「早期停戦は難しい」と平然と語る。

▼ビートルズのジョン・レノンはこう歌った。「皆、主義、主義ばかり。でも僕らが言っているのは平和にチャンスをということ」。主義・主張など二の次。停戦・和平への努力をあらゆる国の政府に迫っていく時だ。